

京都将棋

京都将棋（きょうとしょうぎ）とは将棋の一種であり、2人で行うボードゲーム（盤上遊戯）の一種である。

1976年に田宮克哉が発表した、ごく新しい将棋である。京都銀閣将棋、京都銀閣金鶏秘譜将棋とも言う。名前の由来は香車の裏がと金になることからで、京都には関係ない。駒を1手ごとに裏返すという斬新なルールで知られる。大山康晴十五世名人が絶賛したとの逸話がある。

ルール

5	4	3	2	1	
香	銀	王	金	歩	一
					二
					三
					四
と	銀	玉	金	歩	五

京都将棋の初期配置

ほぼ将棋と同様だが、以下の点で異なる。

- 盤面は縦横5マス。自陣・敵陣はない。
- 初期状態では、右図のように駒を配置する。
- 駒は次の5種類。動きは将棋のものと同じ。
 - 玉 - 表裏とも玉
 - 香と（きょうと） - 表が香、裏がと
 - 銀角（ぎんかく） - 表が銀、裏が角
 - 金桂（きんけい） - 表が金、裏が桂
 - 飛歩（ひふ） - 表が飛、裏が歩
- 駒は成らず、その代わりに1手動くごとにその駒を裏返す。すなわち駒は1手ごとに性能が変わる。
- 将棋同様取った駒は打てるが、表裏どちらで打ってもよい。また最後列に歩や桂馬で打っても構わない。
- 打ち歩詰め、二歩は禁止されていない。